



憲法が輝く
兵庫県政を
つくる会

TEL 078-335-3802
FAX 078-335-3830

Eメール : info@kenpo-kensei.com
キャンペーンサイト : www.tsugawatomohisa.com
Twitter・HP : 「兵庫・憲法県政の会」
Twitter : 「津川ともひさ@7月兵庫県を変える！」
Facebook : 「津川ともひさ」 【部内資料】

6月15日告示、7月2日投票まで3ヵ月弱

「総会・決起集会」に300人

津川ともひさ@7月兵庫県を変える!



「兵庫・憲法県政の会」は3月29日、第13回総会・決起集会を開き、300人が参加しました。津川ともひさ代表幹事は、「地域の実態と再生の努力にも目もくれず、世界の大きな流れにも逆行する4期続いた兵庫県政。これを5期も続けさせるわけにはいきませぬ。私が知事になれば必ず県政は変わります、変えることができま

す。残る3ヵ月、私は全力でたたかいます」と決意を表明しました。(2面に大要)

石川康宏代表幹事が「新しい市民運動と連帯し、団体、地域、個人が津川知事実現に全力を」と主催者あいさつ。市民団体「未来の社会を考える仲間たち」「京都民主府政の会」「ゆたかて住みよい和歌山県をつくる会」の各代表から連帯あいさつを頂きました。

また、加入団体・地域の会の9人が決意表明しました。

4月21日「2000人大集会」の大成功めざし、活動の量とテンポを、一気に引き上げていきま

【「未来の社会を考える仲間たち」久一十春さん・今泉修さん】

福島原発事故避難者支援の活動をしていいますが、兵庫県知事は「原発は利用していいこう」と発言しています。

また、国が戦争法に続き共謀罪も成立させようとしている中、憲法を守る県政であって欲しい。憲法を大事にする津川さんにごんばって欲しい、応援します。

【石川代表幹事 主催者挨拶】

昨日(3月28日)、大阪高裁が高浜原発の再稼働を認めましたが、兵庫県知事はただちにこれを容認しています。県民より大企業の利益を優先する知事の5選は許されません。

津川代表幹事は、すでにフル回転に入っています。安保法をきつかけとした新しい市民運動、保守・無党派層を含む幅広い人たちと連帯し、加入団体、地域の会、すべての個人が、津川知事実現に全力をあげましょう。

のり(憲)のり(法)コラム

私はサクラが嫌い。と言って植物に罪はない。「同期の桜」とか「パッと咲いてパッと散る」。また「ヤマサクラ」は日米指揮所演習の作戦名になっているように、桜には軍隊や命を軽んずるイメージがある▼10世紀以前は花といえば梅だった。万葉集にも古今和歌集にも梅を詠んだ歌は多い。それが桜に変わるのには菅原道真が大宰府に左遷されて以降。歌を読む人が当時の権力者の意向を「村度」したからだと言われている▼桜や梅も権力に翻弄されるのは好まないだろう。桜を素直に美しいと思える日が早く来て欲しい。(M)

- つ 強い決意で
 - が がんばり抜きます
 - わ 私たちで兵庫県を変える
 - と ともに力をあわせ
 - も もっとすばらしい兵庫県へ
 - ひ 飛躍しましょう
 - さ さあ、始めましょう
- 《3/29オレンジメッセージ》

県政転換への願いを総結集しよう

4月21日(金) 19時開会・神戸文化ホール

JR神戸駅から徒歩10分・私鉄高速神戸徒歩8分

私が知事になれば必ず県政は変わる 「残る3ヵ月全力でたたかいます」

代表幹事 津川ともひさ



記者会見から4ヵ月。但馬から淡路まで、尼崎から赤穂まで、県内を回り、市長さん町長さん、農協・漁協の方、病院や学校で頑張っておられる方などなどいろんな方と懇談することができました。その中で見えてきたものが3つあります。

1つは「地域が壊されている」ということです。地域から病院・学校・働く場そして足＝交通手段が奪われてきている。さらに田畑が荒れ海がやせ細ってきていることも教えていただきました。

2番目に見えてきたのは、壊されかかった地域を必死で守り再生させようとしている方たちが、そこかしこにおられると言うことでした。研修医を地域での講習会に参加してもらい、地域の人々との交流を通してここに病院があることの値打ちを知ってもらおうとくみ、鉄製の大きな鉞のようなものを船の後ろにつり下げて、イカナゴが育つように海底を耕している漁師のみなさん、トマトを新しいブランド農作物として売り出すために品種改良とともにそれを継続してくれる若い農業従事者を育てている農協のみなさん。また住民のみなさんとしっかりと密着して行政に携わっておられる市長さんや町長さんもそうでした。

そして、3つめは、ゼネコンや大きな企業の利益のみに、いや今や内部留保金を積み上げさせることだけのために、地域をその草刈り場として提供しているのがアベ政治であり、それと二人三脚で歩むのが井戸県政であるということでした。

わたしは、地域を守ろうと力を尽くしておられる方々としっかり手を結んで、地域を一部のものの利益をもたらす草刈り場ではなく、人間が生きることのできる、人間としてあたりまえの生を送ることができる場とするため、兵庫県政を変えていきます。

みなさん。わたしはそのために、
①県民生活をささえる県政への転換、

②原発ゼロをめざし再生可能エネルギーに抜本的に転換する県政への転換、
③あくまで平和にこだわる県政への転換、

この3つの転換を訴えていきます。

それがじつは大きな世界の流れでもあるということ、わたしはいま目の当たりにしています。それは核兵器廃絶をめぐる問題です。

いま国連では、史上初めて核兵器禁止条約づくりのための協議が開始されています。被爆者のみなさんを先頭に核兵器をなくすための努力が、世界を動かし大きな流れとなり、人類的悲願がいま実を結ぼうとするところまでできています。そのとき唯一の戦争被爆国である日本の政府が、1日目の討論に参加し「禁止条約の協議には反対だ」とし、それ以後は参加しないことを表明したのです。これには日本国内はもとより世界中の核兵器廃絶を願う人々から非難の声が猛烈に上がっています。

そして兵庫県は、国連での協議が開始される3日前、日本政府はその会議に出るべきではないという立場を示したのです。「出席して、条約成立に積極的役割をするよう政府に働きかけること」という県民からの請願を自民・公明・県民連合・維新などの反対で不採択。

また、井戸知事も核兵器禁止条約めざす世界の動きに対しなら積極的に動きを示そうとはしませんでした。

みなさん。地域の実態と再生の努力に目もくれず、世界の大きな流れにも逆行する4期続いた兵庫県政。これを5期も続けさせるわけにはいきません。

県政は変わります、変えることができます。

残る3ヵ月、私は全力でたたかいます。みなさんご一緒に元気に進めていきましょう。

「地域の会」が総会、つどいを次々と開催 要求くみ上げ、得票倍増を（姫路の会）

3月31日



の「姫路の会」決起の総会には100人が参加。鳴津事務局長は「病院の統廃合が進み地域医療が脅かされることに多くの不安が広がっている。子育ての問題でも、子ども医療費問題など運動は大きく広がっている。要求、願いを大きくくみ上げれば、前回得票の倍への飛躍は可能だ」と報告しました。津川代表幹事は、夕方の姫路駅前での宣伝、関電姫路行動でのスピーチを行い、「総会」にもかけつけました。

参加者トークで要望次々と（明石の会）

「明石の会」

は4月2日、75人の参加で総会を開きました。

津川代表幹事は「県の一般会計は約2兆円。県民のための県政に転換しよう」とあいさつ。参加者トークでは「教育の無償化を」「小野市では子ども



医療費は高校まで、保育料も無料化を実現」「公契約条例、住宅リフォーム助成制度確立を」など要望が次々と出され、要求を運動に勝利へ決意を固めました。

必ず津川知事の誕生を（北区の会）

「北区の会」

は3月25日、再建総会を7団体65人の参加で行いました。



津川代表幹事から、「兵庫県は経済力全国7位なのに、県民幸福度は45位」など、井戸県政が今までやってきたひどさ、これからやろうとしている不要不急の大規模公共投資などの話を聞き、必ず津川知事を誕生させようという決意を固めました。

学びを力に、地域に打って出よう（中央区の会）

「中央区の会」

は3月26日、「つどい」を開き50人が参加しました。



津川代表幹事もかけつけ決意を表明しました。また、八木和也弁護士を講師に共謀罪の学習も行いました。